

## 参考資料 2

### 藤沢市議会令和4年9月定例会（9月16日）議事録

◆24番（佐野洋 議員）少年の森の整備についてお聞きいたします。これまで少年の森のリノベーションとして、御所見地区のルーツを大切に、担い手の方も含め、地域との対話を丁寧に行いながら、時代を先取りしたリノベーションに積極的に取り組んでいただくことを要望してまいりました。沼津市での林間学校をアートとの融合を図り、キャンプ場に転換した事例や、横浜市でのPark-PFI手法を用いた公園のアスレチック施設化への転換事例などにも触れてまいりました。前向きな御答弁もいただいているところであります。また、令和3年度には、広く民間事業者から意見を聞き取るサウンディング型市場調査を実施されるとの御答弁もいただいております。そこでまず、サウンディング型市場調査の結果について、概要をお聞かせください。

◎子ども青少年部長（三ツ橋利和）令和3年度に、少年の森という施設の持つ可能性や活用アイデアについて、広く民間事業者から御意見を聞き取ることを目的にサウンディング型市場調査を実施し、3事業者の参加がございました。調査に参加した民間事業者からは、青少年だけでなく、幅広い世代の方を対象とする施設へ転換してはどうか、オートキャンプや起伏のある地形を利用したアクティビティなどのアウトドアレジャーが楽しめる施設にしてはどうか、また、周辺の農園や乗馬クラブなどと連携した体験型宿泊プランの提供が考えられる、そのほか、リニューアルから運営までを全て民間事業者が独立採算で行うことは難しい、さらに、施設運営に必要な電気、ガス、給排水などのインフラ整備は市で行ってほしいなどの御意見が出されております。

◆24番（佐野洋 議員）様々意見があつたように思います。調査結果を踏まえた現在の市の検討状況、今後の検討スケジュールについてお聞かせください。

◎子ども青少年部長（三ツ橋利和）サウンディング型市場調査の結果を踏まえまして、北部地域の整備や観光という視点から、庁内の関係課の意見を聞き、どのような施設にしていくか、再整備の基本的な方針を決めることを目的とした検討会議を開始しており、その結果を基に、公共と民間の役割分担の検討及び再整備事業への民間活力導入可能性の調査を予定しております。

◆24番（佐野洋 議員）庁内検討会議を開始されたとのことですので、行政の主体性を発揮され、サウンディングにサウンディングを重ねることのないよう、取

り組んでいただきたいと思います。地域の期待、要望、提案もあったことからすれば、地域との対話も必要と思います。サウンディング調査後の地域との意見交換会の状況、地域からの意見などについてお聞かせをください。

◎子ども青少年部長（三ツ橋利和）今年度、6月3日に地権者、6月16日に御所見地区郷土づくり推進会議、6月28日に御所見まちづくり推進協議会、7月21日に遠藤まちづくり推進協議会の方々へ向け、サウンディング型市場調査の結果について説明を行っております。地域の方々からは、地域の人が利用できる施設にしてほしい、御所見地区の子どもたちが遊べる場所を残してほしい、地元の意見を聞いてほしいといった御意見をいただいております。

◆24番（佐野洋 議員）地域でも少年の森に魅力があり、少年の森の強みを伸ばしていきたいということが前提かと思えます。何もかもスクラップして新たな魅力を創造する方法もありますが、今の強みを伸ばしていくという面、藤沢の子どもたちにとって健全育成と身近な自然体験の場という点について、今後の考え方をお聞きしたいと思います。地域にとって自然豊かな少年の森は、子どもたちのふだんの遊び場だけでなく、少年野球やグラウンドゴルフなど、スポーツ・レクリエーション活動の場としても親しまれております。また、郷土づくり推進会議を中心とした地域まちづくり事業の拠点として、花の植栽活動や散策ルートの整備なども行われております。そのほかにも、御所見地区独自の青少年事業、御所見ユースデイのスタンプラリーなど、様々な青少年事業にも活用され、地域の重要な社会資源となっております。そのプログラムやノウハウをサマースクールとして各地区で活用できるよう、全市的な青少年育成の研究、実践の場としていくこともできるのではないかと、そのようにも考えますが、御意見をお聞かせください。

◎子ども青少年部長（三ツ橋利和）少年の森は、市街化調整区域に位置し、議員御指摘のように、藤沢の子どもたちにとって身近に自然を体験できる場がございます。そのため、子どもたちのための自然体験の場を残しつつ、幅広い世代の方が楽しめる自然体験施設としての再整備を現在のところ目指してまいります。また、再整備後もデイキャンプなどで市内の各地区の青少年育成団体などが優先して利用できるような配慮を含め、様々な御意見をいただく中で検討してまいります。

◆24番（佐野洋 議員）先ほど申し述べました遠藤笹窪谷公園との連続性などについてはいかがでしょうか。地元でも期待があると思えますが、現在の構想があればお聞かせください。

◎子ども青少年部長（三ツ橋利和）遠藤笹窪谷公園は、里山の豊かな自然環境に親しみ、谷戸景観を楽しむことができる公園であり、少年の森は、自然の中でキャンプやアスレチックなど、様々な野外活動が体験できる施設となっております。具体的な構想はこれからになりますが、来年度にかけて、周辺地域にある様々なコンテンツを結びつけ、関係部局と遠藤笹窪谷公園と連携した取組をさらに検討してまいります。

◆24番（佐野洋 議員）樹木も遠藤笹窪谷公園もですが、地域の資源を包括的に捉えていくことが重要であります。そうした点で、地域資源の連携として、農業体験や、地元農産物を食するキャンプ、さらに地域に広がりを持った取組も可能かと思えます。御所見地区の活性化策として要望を受けるだけでなく、市としても、点ではなく、面的に資源を捉え、地域とのコミュニケーションを基に、アイデアを練り上げていくことが重要と考えます。御見解をお聞かせください。

◎子ども青少年部長（三ツ橋利和）御所見地区をはじめとした北部地域におきましては、本市の中でも自然が豊富で、農業などが盛んな地域であり、海岸を有した南部エリアとは違う魅力のあるエリアと捉えております。そのような地域の特性を生かした農業体験や地産地消など地域資源と連携し、さらには、北部観光振興に資するような北部地域活性化につきまして、関係部局と連携しながら進めてまいります。また、施設の再整備に当たりまして、地域の方々の御意見や民間事業者の御意見を参考に計画を練り上げることは重要と考えております。特に地域の方々の御意見を取り入れる方策として、ワークショップの開催や、少年の森を利用する子どもたちへのアンケートなども検討し、北部地域の活性化に資するシンボリックな施設となるよう進めてまいりたいと考えております。